

Ⅲ 調査結果の分析

1 定住性

1 - 1 居住年数

1 - 2 定住意向

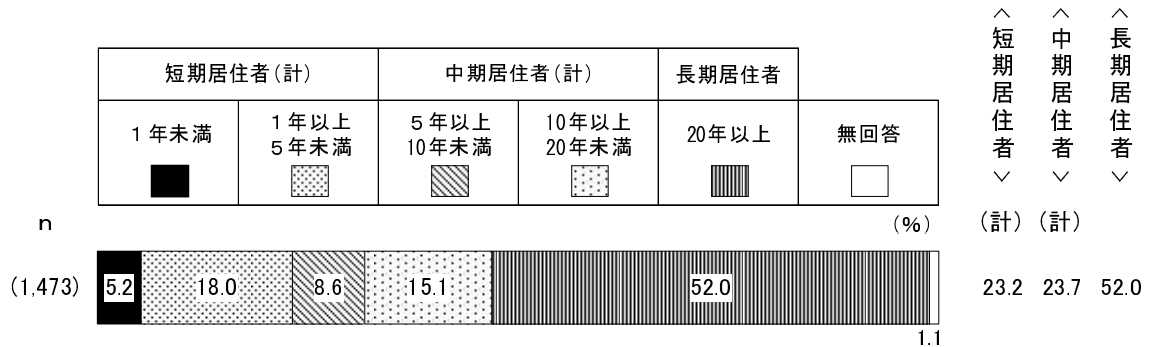
1 - 3 定住意向理由と転出意向理由

1-1 居住年数

- 「20年以上」の<長期居住者>が5割を超える

問1 あなたは、墨田区に住んで何年になりますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図1-1-1



(注) <短期居住者(計)> = 「1年未満」 + 「1年以上5年未満」

<中期居住者(計)> = 「5年以上10年未満」 + 「10年以上20年未満」

<長期居住者> = 「20年以上」

墨田区に住んで何年になるか聞いたところ、「1年未満」(5.2%)と「1年以上5年未満」(18.0%)を合わせた<短期居住者(計)>(23.2%)が2割を超え、「5年以上10年未満」(8.6%)と「10年以上20年未満」(15.1%)を合わせた<中期居住者(計)>(23.7%)が2割を超え、「20年以上」の<長期居住者>(52.0%)が5割を超えている。(図1-1-1)

昭和55年からの推移をみると、<長期居住者>は平成14年以降、緩やかな減少傾向にある。

(図1-1-2)

ブロック別でみると、<長期居住者>はAブロックで7割近くと高く、Hブロックで3割を超える程度と低くなっている。一方、<短期居住者(計)>はHブロックで4割近くと高くなっている。

(図1-1-3)

図 1 - 1 - 2 居住年数構成の推移

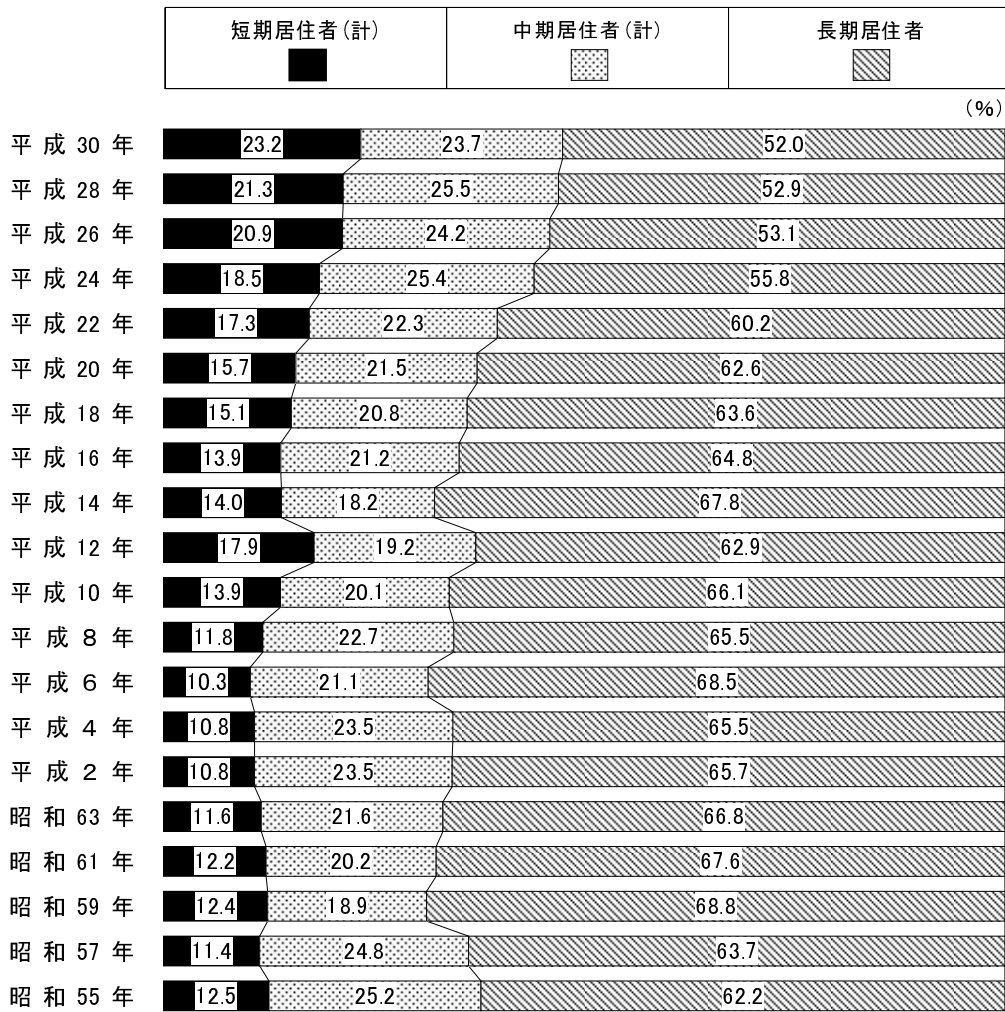
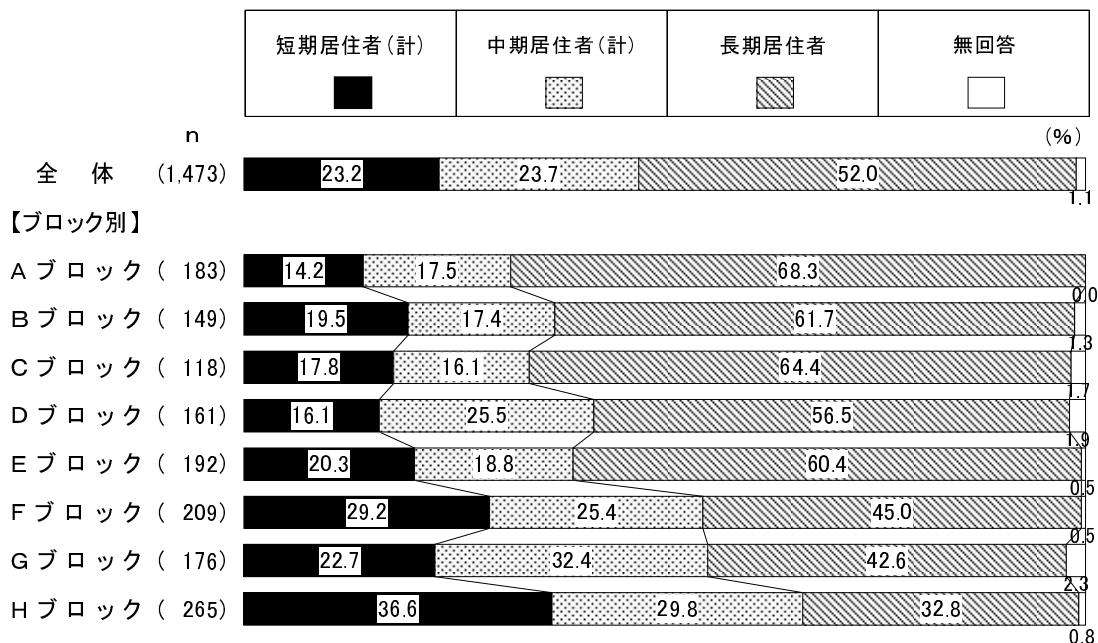


図 1 - 1 - 3 ブロック別 居住年数構成

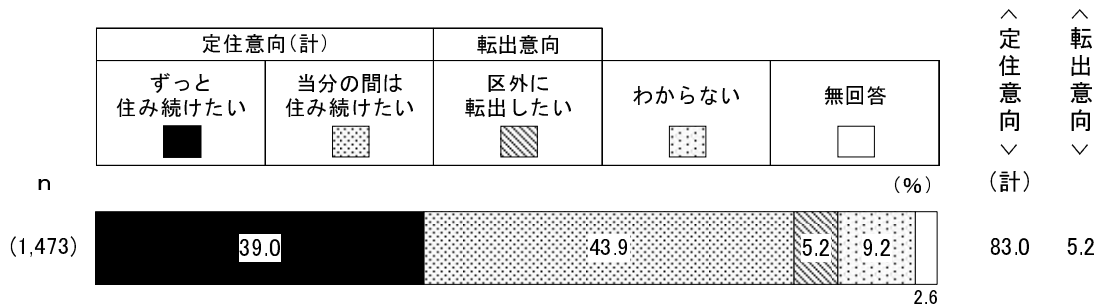


1-2 定住意向

- <定住意向（計）>が8割を超える

問2 あなたは、これからも墨田区に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図1-2-1



これからも墨田区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」（39.0%）が約4割となっており、これに「当分の間は住み続けたい」（43.9%）を合わせた<定住意向（計）>（83.0%）は8割を超えている。これに対して「区外に転出したい」（5.2%）という<転出意向>は1割未満となっている。（図1-2-1）

昭和55年からの推移をみると、<定住意向（計）>は平成10年をピークに平成20年まで減少傾向にあったが、平成22年で増加に転じ、8割以上で推移している。（図1-2-2）

ブロック別でみると、<定住意向（計）>はE・F・Gブロックで8割台半ばと高くなっている。（図1-2-3）

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、<定住意向（計）>は男性70歳代以上で9割を超えて高くなっている。（図1-2-4）

東京都・区部と比較すると、<定住意向（計）（住みたい）>は墨田区（83.0%）で8割を超えており、東京都（75.4%）より7.6ポイント、区部（77.2%）より5.8ポイント上回っている。（図1-2-5）

図1-2-2 定住意向の推移

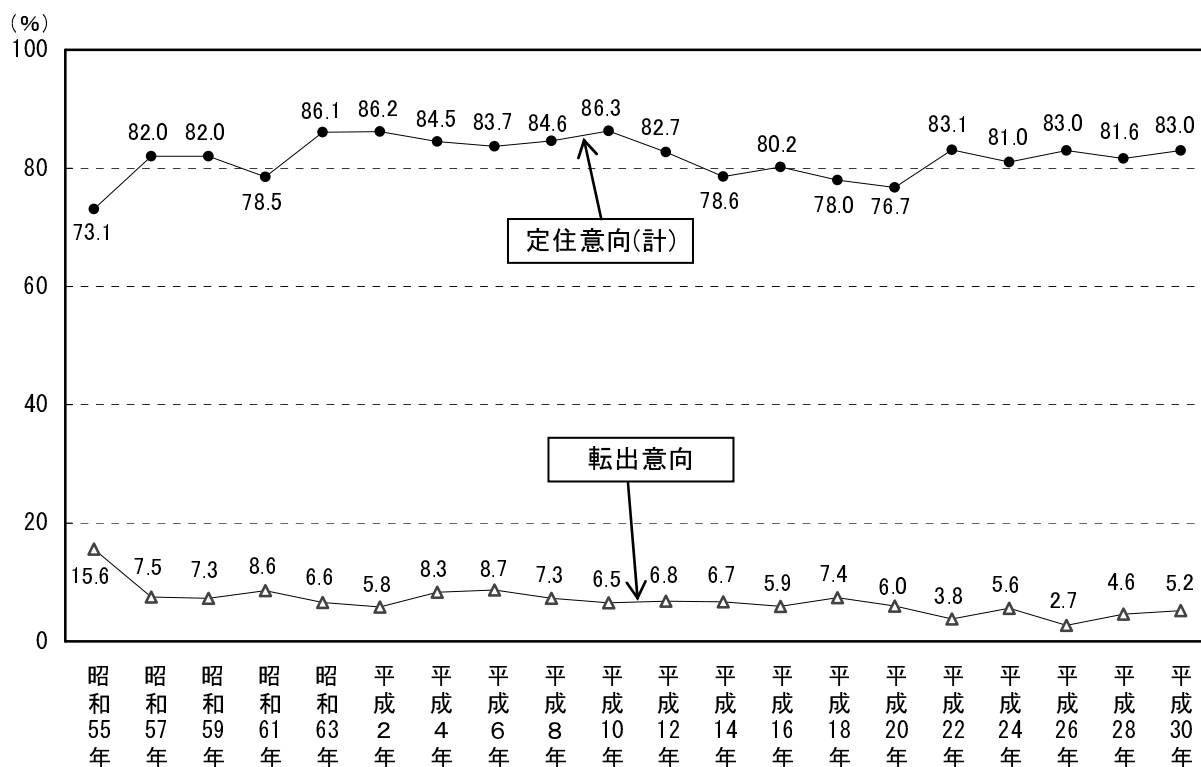


図1-2-3 ブロック別 定住意向

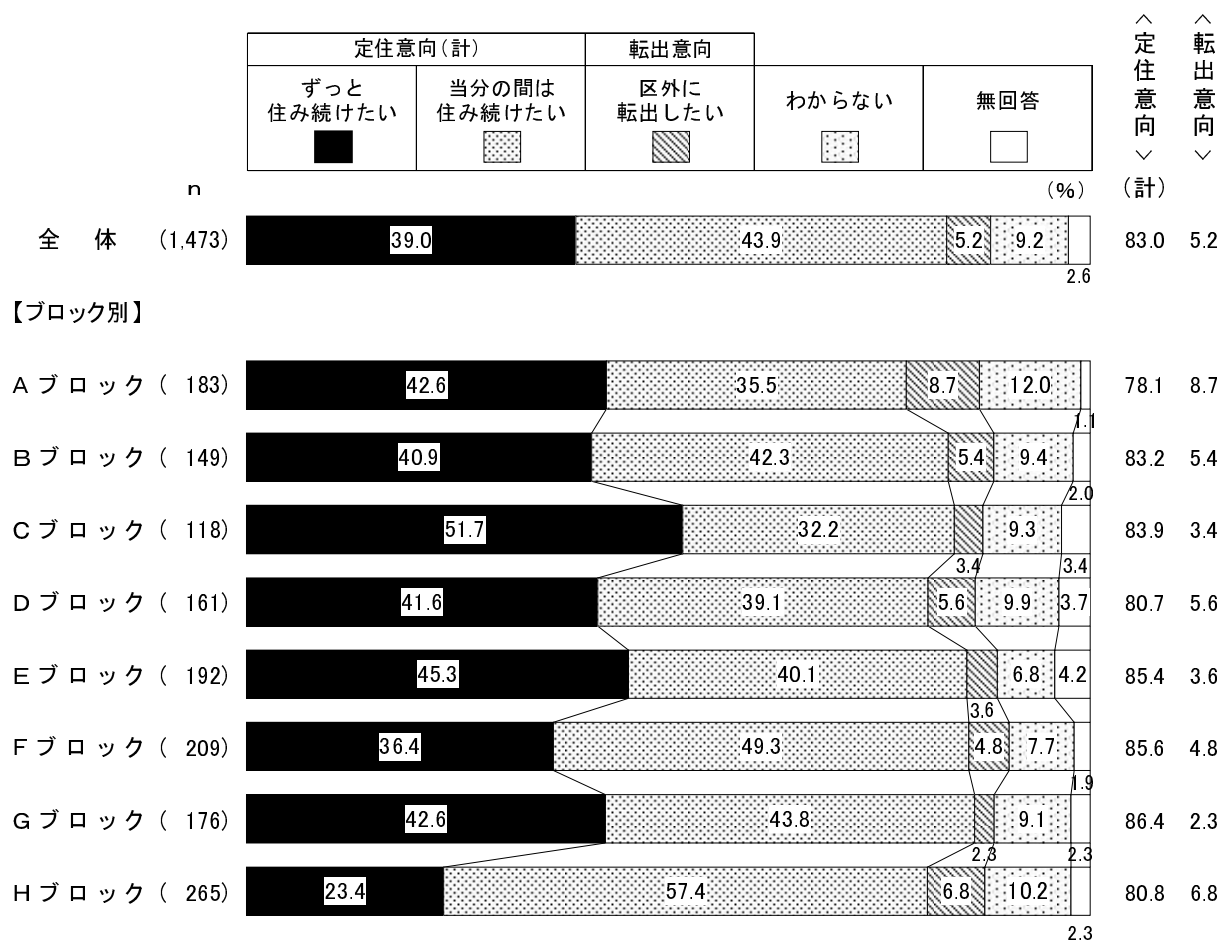


図1-2-4 性別、性・年代別 定住意向

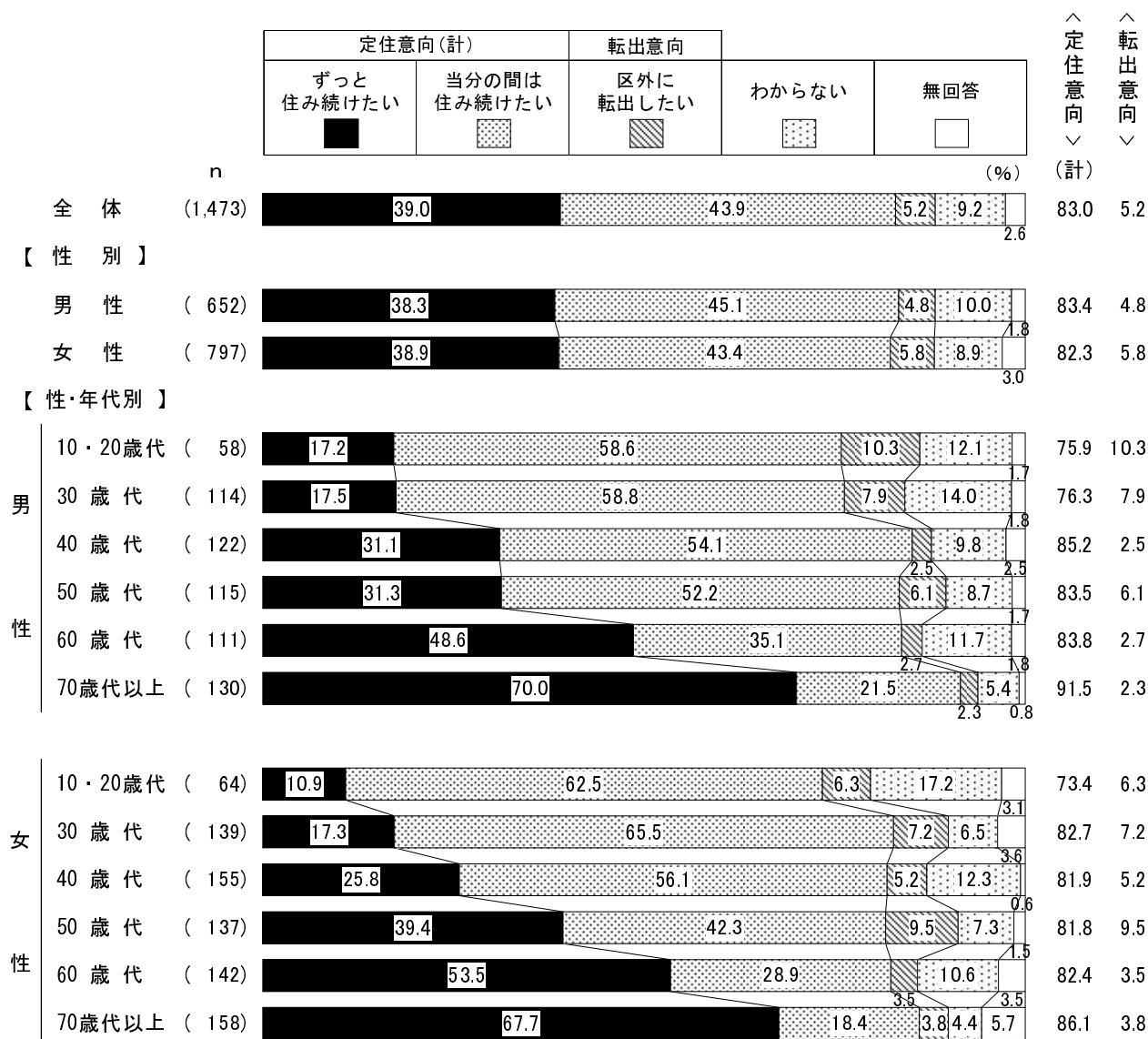
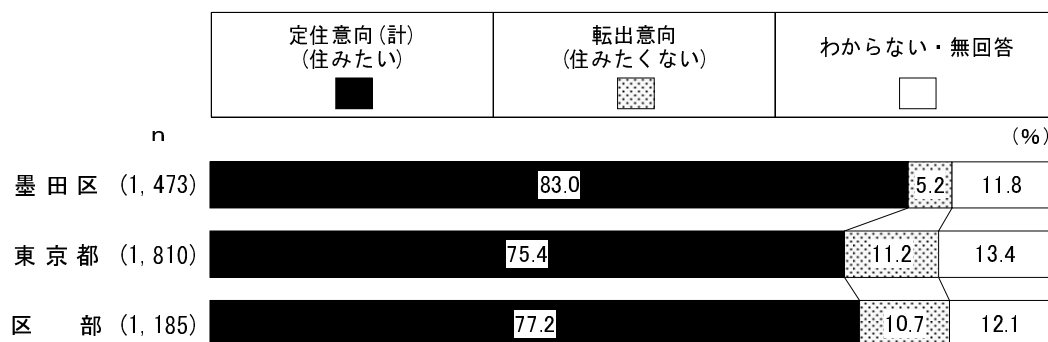


図1-2-5 東京都・区部との比較 定住意向



(注1) 東京都と区部は地域定住意向の調査結果

(注2) 表頭の()内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(平成29年)

1-3 定住意向理由と転出意向理由

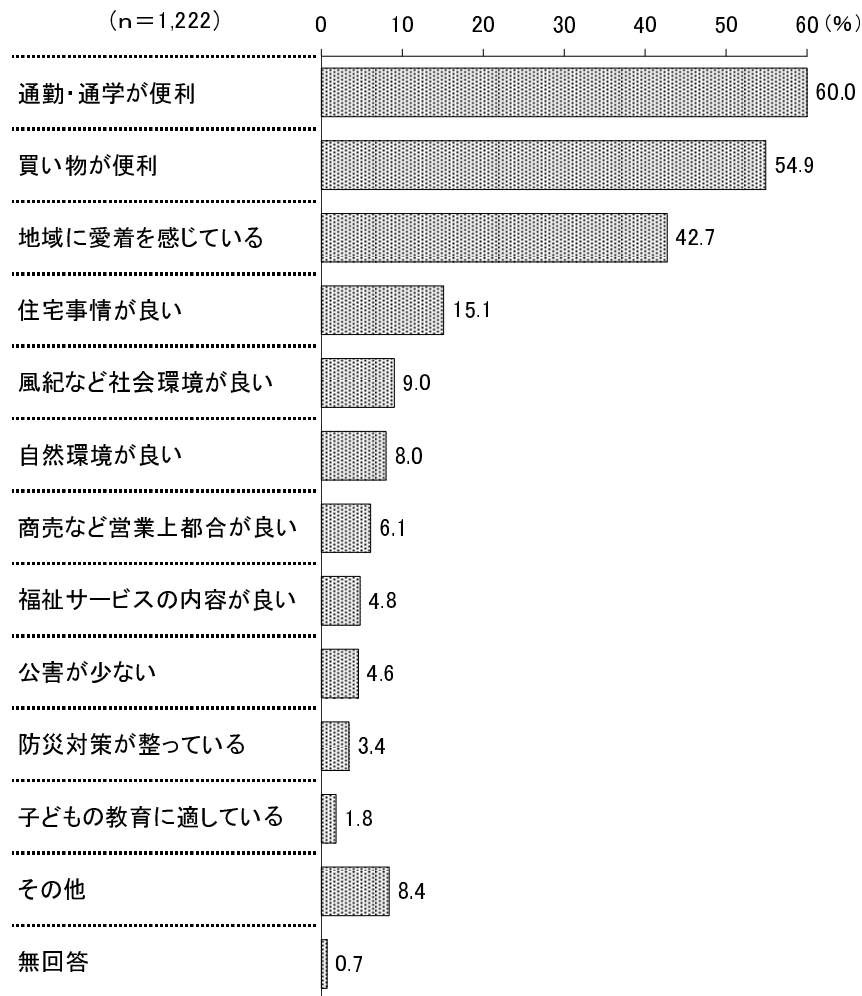
(1) 定住意向理由

- 「通勤・通学が便利」が6割

〔問2で「ずっと住み続けたい」・「当分の間は住み続けたい」と答えた方に〕

問2-1 その主な理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

図1-3-1



墨田区に「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」という人(1,222人)にその理由を聞いたところ、「通勤・通学が便利」(60.0%)が6割で最も高く、次いで「買い物が便利」(54.9%)、「地域に愛着を感じている」(42.7%)、「住宅事情が良い」(15.1%)となっている。

(図1-3-1)

定住意向の理由上位3項目を属性別でみると、地域別では、北部は「買い物が便利」、「通勤・通学が便利」、「地域に愛着を感じている」の間に大きな差はないが、南部は「通勤・通学が便利」が7割を超えて高くなっている。

ブロック別でみると、「通勤・通学が便利」はB・D・F・G・Hブロックで第1位となっており、5割以上と高くなっている。「地域に愛着を感じている」はA・Cブロックで第1位、「買い物が便利」はEブロックで第1位となっている。

性別でみると、男女ともに「通勤・通学が便利」が最も高くなっている。

性・年代別でみると、男女ともに50歳代以下の年代で「通勤・通学が便利」が最も高く、女性の60歳代と70歳代以上、男性70歳代以上で「買い物が便利」が最も高くなっている。「地域に愛着を感じている」は男性60歳代で最も高くなっている。(表1-3-1)

表1-3-1 地域別、ブロック別、性別、性・年代別 定住意向理由

(%)

分析項目		n	第1位		第2位		第3位		
全体		(1,222)	通勤・通学が便利	60.0	買い物が便利	54.9	地域に愛着を感じている	42.7	
地域別	北部地域	(660)	買い物が便利	51.8	通勤・通学が便利	50.0	地域に愛着を感じている	46.5	
	南部地域	(545)	通勤・通学が便利	72.8	買い物が便利	58.7	地域に愛着を感じている	38.5	
ブロック別	Aブロック	(143)	地域に愛着を感じている	49.7	買い物が便利	48.3	通勤・通学が便利	40.6	
	Bブロック	(124)	通勤・通学が便利	51.6	地域に愛着を感じている	45.2	買い物が便利	43.5	
	Cブロック	(99)	地域に愛着を感じている	46.5	通勤・通学が便利	44.4	買い物が便利	42.4	
	Dブロック	(130)	通勤・通学が便利	56.2	地域に愛着を感じている	51.5	買い物が便利	49.2	
	Eブロック	(164)	買い物が便利	68.9	通勤・通学が便利	55.5	地域に愛着を感じている	40.9	
	Fブロック	(179)	通勤・通学が便利	64.2	買い物が便利	53.6	地域に愛着を感じている	43.6	
	Gブロック	(152)	通勤・通学が便利	79.6	買い物が便利	73.7	地域に愛着を感じている	32.9	
	Hブロック	(214)	通勤・通学が便利	75.2	買い物が便利	52.3	地域に愛着を感じている	38.3	
性別	男性	(544)	通勤・通学が便利	61.8	買い物が便利	51.8	地域に愛着を感じている	42.3	
	女性	(656)	通勤・通学が便利	58.5	買い物が便利	57.2	地域に愛着を感じている	43.1	
性・年代別	男性	10・20歳代	(44)	通勤・通学が便利	84.1	買い物が便利	54.5	地域に愛着を感じている	34.1
		30歳代	(87)	通勤・通学が便利	75.9	買い物が便利	48.3	地域に愛着を感じている	28.7
		40歳代	(104)	通勤・通学が便利	77.9	買い物が便利	59.6	地域に愛着を感じている	37.5
		50歳代	(96)	通勤・通学が便利	70.8	地域に愛着を感じている	41.7	買い物が便利	32.3
		60歳代	(93)	地域に愛着を感じている	52.7	通勤・通学が便利／買い物が便利		51.6	
		70歳代以上	(119)	買い物が便利	62.2	地域に愛着を感じている	52.1	通勤・通学が便利	30.3
	女性	10・20歳代	(47)	通勤・通学が便利	76.6	買い物が便利	53.2	地域に愛着を感じている	23.4
		30歳代	(115)	通勤・通学が便利	79.1	買い物が便利	54.8	地域に愛着を感じている	30.4
		40歳代	(127)	通勤・通学が便利	76.4	買い物が便利	49.6	地域に愛着を感じている	36.2
		50歳代	(112)	通勤・通学が便利	62.5	買い物が便利	51.8	地域に愛着を感じている	50.0
		60歳代	(117)	買い物が便利	59.8	地域に愛着を感じている	50.4	通勤・通学が便利	45.3
		70歳代以上	(136)	買い物が便利	69.9	地域に愛着を感じている	55.9	通勤・通学が便利	27.2

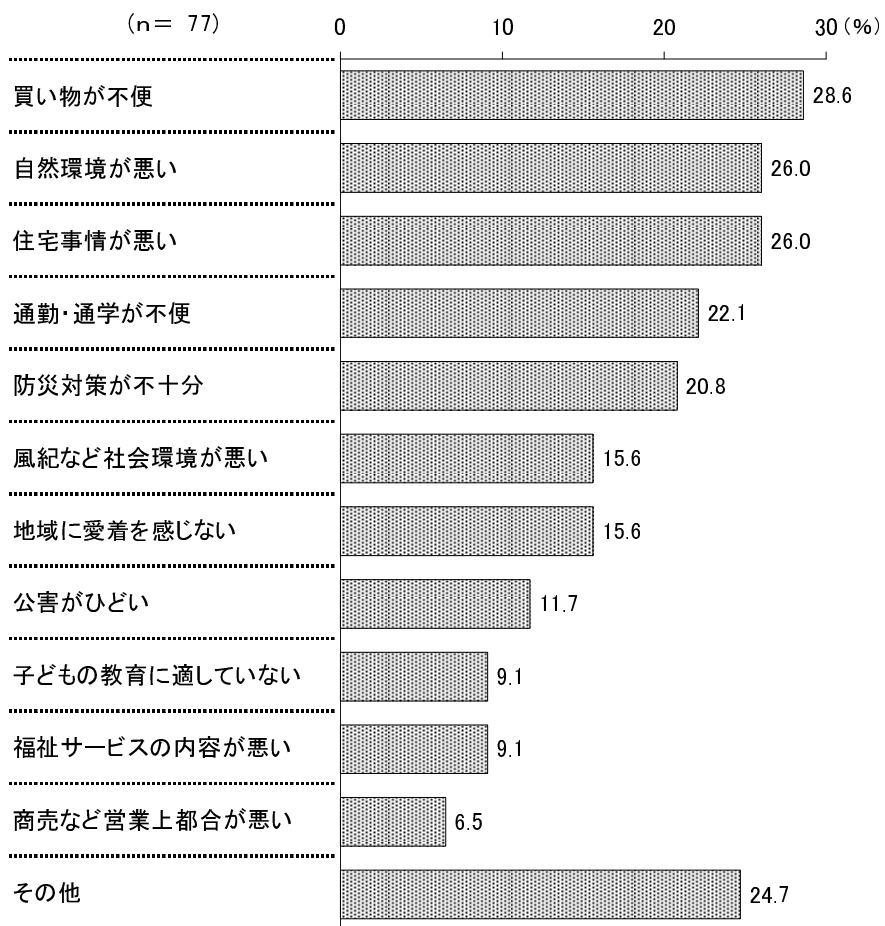
(2) 転出意向理由

- 「買い物が不便」が3割近く

〔問2で「区外に転出したい」と答えた方に〕

問2-2 その主な理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

図1-3-2



「区外に転出したい」という人（77人）にその理由を聞いたところ、「買い物が不便」（28.6%）が3割近くで最も高く、次いで「自然環境が悪い」と「住宅事情が悪い」（ともに26.0%）、「通勤・通学が不便」（22.1%）となっている。（図1-3-2）